令和７年度　指定管理者年度総合評価表

（令和７年４月～令和８年３月実施分）

作　成　日	令和8年5月14日

■指定管理者概要

施　設　名	八戸市市民の森不習岳	
所　在　地	八戸市南郷大字島守字長坂長根25番地５	
施設概要	設置目的：　良好な自然環境にある森林を保護するとともに、その利用の増進を図り、もって市民の保健休養及び森林愛護の思想向上に資することを目的とする。 施設規模：　総合案内施設1棟、体験交流施設1棟、炊事棟1棟、屋外トイレ3棟、東屋2棟、パーゴラ1棟、展望台1棟、倉庫2棟、受水槽室1棟、ポンプ室(高置水槽)1棟、複合遊具1基、展望デッキ1基、屋外ステージ(デッキ)1基、林間歩道10.4km、水飲場5箇所、駐車場0.3ha （キャンプ場、山頂芝生広場、山麓広場、林間広場、くり園、もみじ園、湿生園）	
指定管理者	名　　称	ユニバーサルパーク・ネットワーク
	代表者	山下　博
	所在地	八戸市西白山台六丁目９番21号
指定期間	令和６年４月１日 ～ 令和11年３月31日	
指定管理者の業務	(1) 市民の森の利用に関する業務 (2) 市民の森の施設、設備等の維持管理に関する業務 (3) その他市長が必要と認める業務	
市所管課（問合せ先）	農林水産部 畜産林政課 畜産林政グループ	
	電　話	0178-43-9254（直通）
	e-mail	norin@city.hachinohe.aomori.jp

■指定管理者による自己評価

評　価	・年度管理計画に基づき、安全安心に留意し、管理運営を行った。 ・障がい者の自立支援就労訓練として、花壇づくり、施設清掃などの軽作業に従事してもらい、継続した就労訓練活動を行った。 ・利用者により良いサービスの提供をするよう心掛けた。 ・各施設の利用方法やイベント等の内容を検討し、多くの市民に足を運んでもらえるよう努めた。
今後の目標	・継続的に利用されるよう、利用者の声に耳を傾け管理運営を行っていきたい。 ・施設の魅力や自然の素晴らしさを利用者に伝えるために情報発信を行っていきたい。 ・他の活動団体の協力を得ながら、イベント等を充実させたい。

■市（所管課）の総合評価

評　価	・施設の設置目的を理解し、協定書や業務基準書に基づいた管理業務を実施していた。 ・団体利用時には、管理人を増員し、安全に楽しむことができるよう対応していた。 ・障がい者の自立支援就労訓練の場を提供し、社会貢献度の高い取組みを行っていた。
指摘事項	・特になし

［評価：◎非常に良い、○良い、△やや悪い、×悪い、―評価不能］

■管理運営状況に係る個別評価

1　管理状況

指標	評価	評価に対する説明
開館時間、休館日の運用	○	業務基準書に示された開館時間が順守されていた。
法令の遵守	○	関係法令を遵守していると認められた。
適正な人員配置	○	人員及び資格者を適正に配置していた。
従事者の労働環境確保	○	労働関係法令が順守されていた。
障がい者の雇用状況	○	障がい者の自立支援及び就労訓練の一環として、維持管理業務の補助作業（草刈や施設清掃等）に延べ227人従事した。
従事者の教育・研修	○	従事者の教育や研修は適切に行われていた。
緊急事態への対応	○	事故、災害等の緊急事態への準備が十分できていた。
文書の管理保存	○	文書取扱規程が整備され、作成、受領した文書が適切に管理されていた。
報告書等の提出	○	事業計画、月例報告書、事業報告書、その他報告等が適切に提出された。
口座管理、経理の区分	○	指定管理業務に関する収支は専用口座で管理し、経理区分も整理されていた。
通帳、印鑑の管理	○	通帳と印鑑の管理が適切であった。
付保する保険	○	包括協定書に基づき下記保険に加入していることを確認した。 ・自動車保険 ・事業総合賠償責任保険 ・グループ傷害保険
管理物件に対する損害賠償、第三者への賠償	○	事例無し。
指定管理開始前における準備	―	今期（令和６年度～10年度）において指定管理者の指定を受けているので、対応なし。
管理終了後における引継ぎ	―	今期（令和６年度～10年度）において指定管理者の指定を受けているので、対応なし。
重要事項の変更の届出	―	届出の必要な事例なし。
施設の使用許可及び条件	○	施設使用許可は設置条例に基づき適切に行われていた。
施設、設備の保守管理	○	施設、設備の保守管理（点検や修繕等）が適切に行われていた。
備品の管理	○	備品の管理（点検や修繕等）が適切に行われていた。
清掃業務、警備業務、その他必要な管理業務	○	清掃業務、その他必要な管理業務が適切に行われていた。

2 運営状況

指標	評価	評価に対する説明
利用状況	△	利用者数は前年度実績を下回った。 令和６年度実績　45,540人 令和７年度実績　35,085人（前年度比 77.04%） ・学校等遠足 令和６年度実績　0人 令和７年度実績　0人 ・キャンプ場 令和６年度実績　306人（148組） 令和７年度実績　244人（90組）（前年度比 79.7%） ・その他団体（一般企業、老人福祉施設、障がい者施設等） 令和６年度実績　826人(26団体) 令和７年度実績　465人(24団体)(前年度比 56.3%)
イベント業務実施状況	◎	業務基準書に規定されている回数（８回）以上のイベントを実施し、利用者増に貢献した。 ・実施期間　４月～11月 ・実施内容　木登り体験や昆虫を探そうなどの自然に親しむことのできるイベントを15回開催した。 ・参加人数　2,209人
自主事業	○	自主事業を実施し、利用者の増加に努めた。 ・飲料の自動販売機を設置することで利用者の利便性向上を図った。 ・要望に応じて林道散策のコース案内を行った。 ・間伐材を利用したホダ木にきのこを植菌し、来山者が採取できる場を提供した。
その他の取組 （運営に関する工夫）	◎	独自に社会貢献度の高い取組を行っていた。 ・障がい者が軽作業に従事する機会として、草刈り、林間歩道補修作業、施設清掃等の場を提供し、障がい者の自立訓練及び就労訓練を支援した。（延べ213人）

3 収支状況

指標	評価	評価に対する説明
指定管理業務の収支状況	○	収支計画を概ね達成し、黒字であった。

（単位：円）

	項目	収支計画	収支実績	前年度実績
収入①	指定管理料	13,016,000	13,016,000	13,016,000
	修繕料繰越金	66,000	0	0
	イベント参加料	150,000	81,000	87,500
	雑収入	4,000	58,779	78,548
	計	13,236,000	13,155,779	13,182,048
支出②	人件費	6,100,000	5,595,230	5,839,342
	維持管理経費	5,586,000	5,777,091	5,529,368
	事業費・一般事務費	1,550,000	1,532,268	1,744,026
	計	13,236,000	12,904,589	13,112,736
次年度修繕料繰越金③		0	249,700	66,000
収入-支出(①-②-③)		0	1,490	3,312

指定期間		R6	R7	R8	R9	R10	計
収支	計画	0	0				0
	実績	3,312	1,490				4,802

自主事業の収支状況	○	収入は概ね計画のとおりだったが、支出が予定を下回り、黒字であった。

	項目	収支計画	収支実績
収入①	事業収入	500,000	274,305
	事業外収入	0	0
	計	500,000	274,305
支出②	直接事業費	500,000	232,575
	間接事業費	0	0
	計	500,000	232,575
収入－支出(①-②)		0	41,730

4 運営に係る体制整備等の状況

指標	評価	評価に対する説明
利用者満足度の把握	○	利用者アンケート調査及びその結果を活かす仕組みができていた。 ・イベント参加者にアンケート調査を行い、その結果を管理運営の参考にしていた。
施設概要(利用方法)の周知	○	施設概要や利用方法をホームページやリーフレットで積極的に周知していた。
苦情・要望等の受付体制	○	苦情・要望等の受付体制を明示し、周知していた。 ・施設内に意見箱を設置し、苦情・要望の受付体制を整えていた。
苦情・要望等への対応	—	苦情・要望等はなかった。
個人情報の保護	○	個人情報保護の規程が整備され、遵守されていた。
情報公開	○	情報公開の規程が整備され、遵守されていた。
秘密保持義務	○	秘密保持義務が守られ、適切に対応されていた。
環境への配慮	○	環境に配慮した物品購入、省エネルギーへの取組、リサイクルの推進等が適切に行われていた。
障がい者への配慮	○	障がい者が不便なく施設を利用できるように、指定管理者から積極的に声掛けを行っていた。

■他の事業評価実施状況

1 セルフモニタリング

	実施状況
自主点検状況	・毎日業務日誌を記入し、管理人や運営スタッフとの情報共有を図った。 ・利用者やイベント参加者にアンケートをお願いし、管理運営の参考にした。 ・毎月運営会議を開催し、業務内容の確認等について協議した。 ・市の担当者と連絡を密にし、協議の上で管理運営に当たった。

2 定期モニタリング

	実施状況
定期報告状況	月例業務報告書、事業報告書が遅滞なく提出され、内容も適切であった。

3 随時モニタリング

	実施回数	実施日	実施者	実施内容
実地調査状況	20回	4月2日　外	担当	施設の運営に関する協議 改修工事に係る打合せ 施設の破損状況等の確認 業務実施状況等の確認
		11月11日　外	担当,GL	備品等の確認、現金、帳簿類の管理状況の確認

	実施結果
実地調査状況	・施設の破損状況の確認を指定管理者からの報告により行い、迅速な対応につなげた。

※GL：グループリーダー